

ダイワ外国3資産バランス・ファンド (部分為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

<5613> <5614>

(部分為替ヘッジあり)追加型投信／海外／資産複合

日経新聞掲載名：外3バラ部有

(為替ヘッジなし)追加型投信／海外／資産複合

日経新聞掲載名：外3バラなし

第8期 2021年6月28日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の債券、株式およびリート（不動産投資信託）に投資を行ない、利息および配当収入の獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

(部分為替ヘッジあり)

第8期末	基準価額	14,757円
	純資産総額	268百万円
第8期	騰落率	16.9%
	分配金	0円

(為替ヘッジなし)

第8期末	基準価額	14,601円
	純資産総額	318百万円
第8期	騰落率	24.2%
	分配金	0円

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇SKU0561320210628◇

「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法

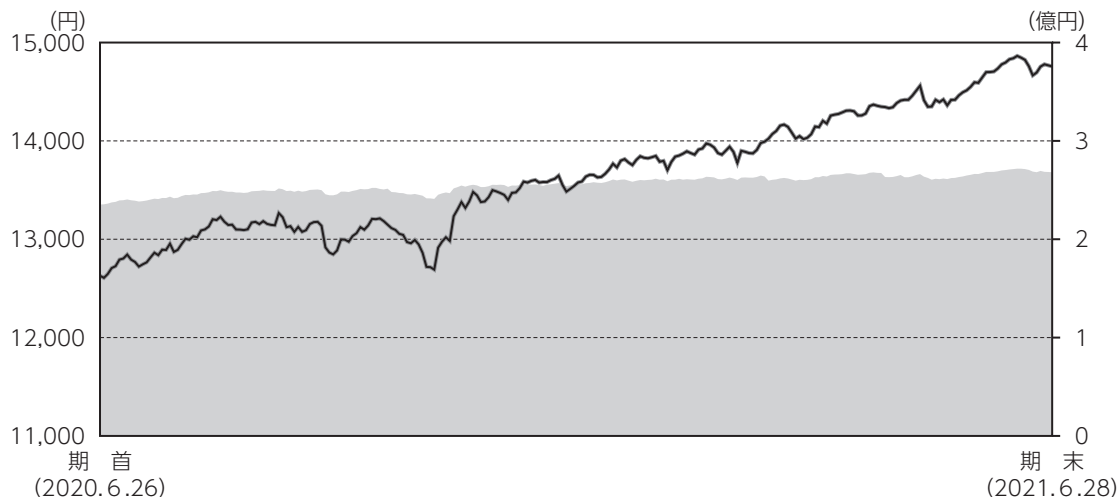
上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書（全体版）を選択

部分為替ヘッジあり



運用経過

基準価額等の推移について



— 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸) ■ 純資産総額 (右軸)

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：12,629円

期末：14,757円（分配金0円）

騰落率：16.9%（分配金込み）

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド	△2.4%	49.0%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	44.5%	25.3%
ダイワ海外好配当株マザーファンド	42.8%	24.8%

■ 基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じて各資産クラスに投資した結果、海外株式市況、海外リート市況が上昇したことや、為替相場において円安が進んだことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2020.6.27~2021.6.28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	192円	1.404%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,659円です。
(投 信 会 社)	(86)	(0.630)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(98)	(0.719)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(8)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0.037	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.019)	
(投資信託証券)	(2)	(0.018)	
有 価 証 券 取 引 税	3	0.025	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.008)	
(投資信託証券)	(2)	(0.017)	
そ の 他 費 用	27	0.197	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(17)	(0.121)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(9)	(0.068)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	227	1.663	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

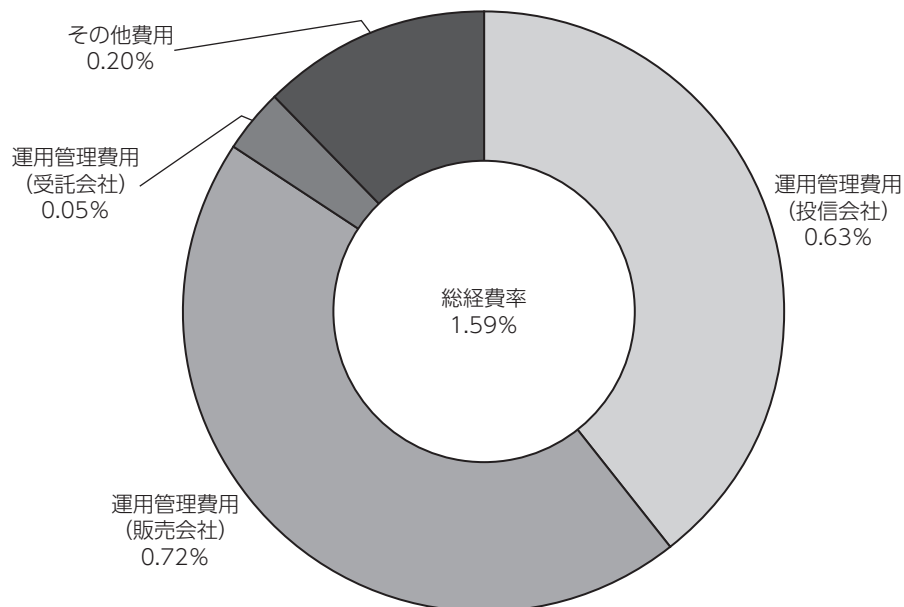
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.59%です。

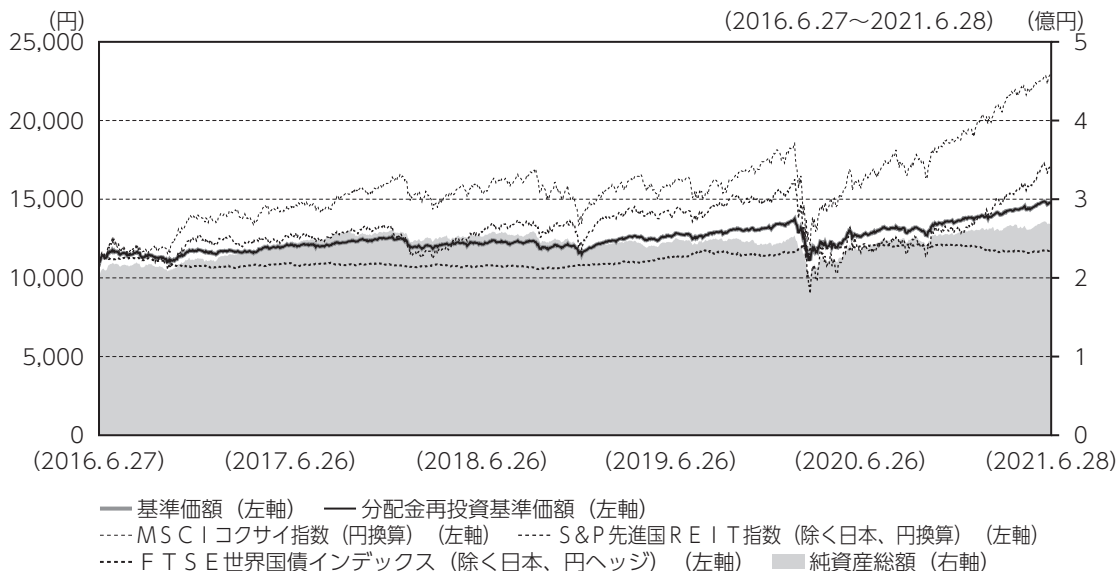


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



（注）参考指数は、2016年6月27日の基準価額をもとに指数化したものです。

*参考指数は、M S C I コクサイ指数（円換算）、S & P 先進国 R E I T 指数（除く日本、円換算）および F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ）です。

ダイワ外国3資産バランス・ファンド（部分為替ヘッジあり）

	2016年6月27日 期初	2017年6月26日 決算日	2018年6月26日 決算日	2019年6月26日 決算日	2020年6月26日 決算日	2021年6月28日 決算日
基準価額 (円)	11,086	12,076	12,120	12,646	12,629	14,757
分配金 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	8.9	0.4	4.3	△0.1	16.9
F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ) 騰落率 (%)	—	△1.4	△1.7	5.5	5.9	△2.8
M S C I コクサイ指数 (円換算) 騰落率 (%)	—	30.1	6.7	2.6	1.1	43.8
S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、円換算) 騰落率 (%)	—	14.1	1.9	8.4	△15.9	44.7
純資産総額 (百万円)	204	245	251	245	235	268

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

(注3) F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ) は、F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ) の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注4) M S C I コクサイ指数 (円換算) は、M S C I Inc.の承認を得て、M S C I コクサイ指数 (米ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。M S C I コクサイ指数 (米ドルベース) は、M S C I Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I Inc.に帰属します。またM S C I Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注5) S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、円換算) は、S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、米ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注6) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注7) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

（2020.6.27～2021.6.28）

■ 海外債券市況

海外債券市況は、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

海外債券市況は、当作成期首から、緩和的な金融政策の長期化が見込まれる中で、金利は低位で推移しました。その後、2020年11月の米国大統領選挙において民主党のバイデン候補が勝利する見込みが高まると、大規模な景気刺激策への期待から長期金利は上昇しました。2021年1月に入ると、米国で民主党が大統領府および連邦議会上下両院を制する状態となったことや、新型コロナウイルスのワクチン接種の急速な拡大によって世界経済の回復期待が高まったことから、金利上昇が加速しました。

■ 海外株式市況

海外株式市況は上昇しました。

海外株式市況は、当作成期首から2021年6月まで、新型コロナウイルスによる世界経済減速からの回復期待により、堅調な展開となりました。各国・地域の政府、中央銀行が大胆な支援策を講じ、段階的に経済活動を再開する中で景気回復への期待が高まったことなどが支援材料になりました。2020年9月以降は、これまでの株価上昇による高値警戒感に加え、欧州などで感染が再拡大したことなどにより、株価の調整が見られました。年末にかけては、米国大統領選挙で民主党のバイデン候補が勝利を確実にし、米国政治をめぐる不透明感が後退したとの見方や米国の追加経済対策への期待などから上昇しました。2021年1月から当作成期末にかけても、高値警戒感や米国金利上昇への警戒感などから調整する局面はありましたが、ワクチン接種の進展や米国で1.9兆ドル規模の追加経済対策が成立し、景気回復への期待が高まったことなどが支援材料となり、上昇しました。

■ 海外リート市況

海外リート市況は上昇しました。

米国では、新型コロナウイルスの感染拡大が嫌気される局面もありましたが、ワクチン接種の進展による経済正常化期待などを好感して上昇しました。欧州では、ワクチン普及による経済正常化期待を受けて、フランスやオランダ中心に上昇しました。アジア・オセアニアでは、感染拡大の収束傾向を背景に、オーストラリアや香港が上昇しました。

■ 為替相場

為替相場は、下落（円高）後に反転し、上昇（円安）しました。

当作成期首より、新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念からリスク回避姿勢が高まり、投資対象通貨は下落しました。2020年11月以降は、ワクチン開発で大きな進展があったことで市場のリスク志向が高まり、投資対象通貨は上昇しました。また2021年1月には、米国での大規模な財政政策へ期待が高まったことも、投資対象通貨の上昇材料となりました。特に、豪ドルやカナダ・ドルなどの資源国通貨は、資源価格が大きく上昇したことで、堅調な推移となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

マザーファンドを通じて、主として海外の債券、株式およびリートに投資を行い、利息および配当収入の獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

各マザーファンドの受益証券への投資にあたっては、下記の組入比率をめどに行います。

- ・ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の50%
- ・ダイワ海外好配当株マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の25%
- ・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の25%

■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ海外好配当株マザーファンド

海外の株式等に投資し、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得により信託財産の中長期的な成長をめざします。地域配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域に均等に投資することを基本とします。個別銘柄選定にあたっては、配当の質の高い企業を選定するための定量分析データや、配当利回りの水準、時価総額規模、流動性等を勘案します。また、定性分析に基づき利益や配当の継続性を考慮し、業績見通しの改善が期待される企業に投資を行う方針です。

■ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託します。海外リートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案し投資銘柄を選定し、分散投資を行います。

※C&S：コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク

ポートフォリオについて

(2020.6.27~2021.6.28)

■当ファンド

マザーファンドを通じて、主として海外の債券、株式およびリートに投資を行い、利息および配当収入の獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の組入比率をめどに投資を行いました。

- ・ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の50%
- ・ダイワ海外好配当株マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の25%
- ・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の25%

■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ海外好配当株マザーファンド

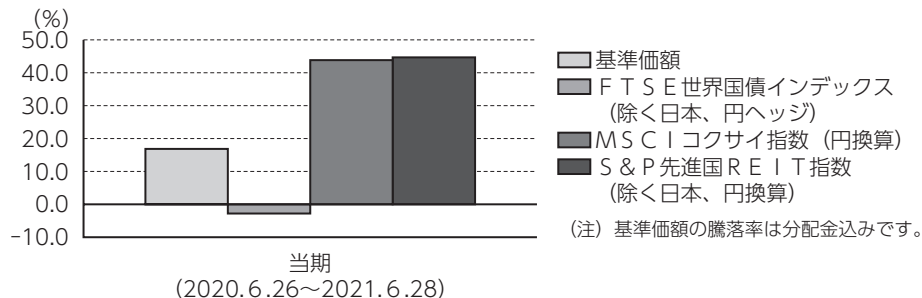
海外の株式等に投資し、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得により信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。地域別配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域を均等になるように、個別銘柄の投資比率を調整しました。個別銘柄の選択に関しては、高い配当利回りが期待される銘柄の中から、特に利益やキャッシュフロー等の業績成長や負債比率等の財務体質の健全性を考慮し、ポートフォリオに組み入れました。また株価の水準にも注意を払い、相対的に割安感がある企業を中心に組み入れを行いました。

■ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託しております。当ファンドでは、信託財産の中長期的な成長をめざし保有不動産の価値などと比べてリート価格が魅力的であると考えられる銘柄に着目するとともに、安定的な配当利回りの確保をめざしてポートフォリオを構築しました。国・地域別配分では大きなリスクを取らず各地域に分散して投資を行いました。米国では、需給改善が期待されたヘルスケアリートや、電子商取引に関連した需要増加が期待される産業施設リートなどに注目しました。欧州では、安定したキャッシュフロー成長が見込まれるセクターである貸倉庫を保有するリートやヘルスケアリートに、アジア・オセアニアでは、オーストラリアの産業施設リートなどに注目しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年6月27日 ～2021年6月28日	
当期分配金（税込み） (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	4,757	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

マザーファンドを通じて、主として海外の債券、株式およびリートに投資を行い、利息および配当収入の獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

各マザーファンドの受益証券への投資にあたっては、下記の組入比率をめどに行います。

- ・ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の50%
- ・ダイワ海外好配当株マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の25%
- ・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の25%

■ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ海外好配当株マザーファンド

海外の株式等に投資し、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得により信託財産の中長期的な成長をめざします。地域配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域に均等に投資することを基本とします。個別銘柄選定にあたっては、配当の質の高い企業を選定するための定量分析データや、配当利回りの水準、時価総額規模、流動性等を勘案します。また、定性分析に基づき利益や配当の継続性を考慮し、業績見通しの改善が期待される企業に投資を行う方針です。

■ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託します。海外リートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案し投資銘柄を選定し、分散投資を行います。

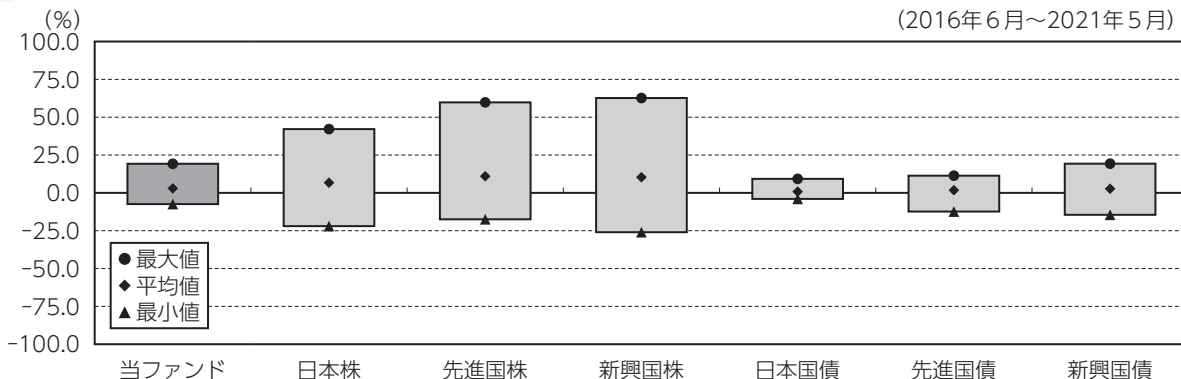


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	約14年9カ月間（2013年10月11日～2028年6月26日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドの受益証券 ロ. ダイワ海外好配当株マザーファンドの受益証券 ハ. ダイワ・グローバルR E I T ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ先進国債券 （為替ヘッジあり） マザーファンド	先進国通貨建ての債券
	ダイワ海外好配当株 マザーファンド	海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ・グローバル R E I T ・ マザーファンド	海外の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）および店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券
ベビーファンドの 運用方法	<p>①マザーファンドを通じて、主として海外の債券、株式およびリート（不動産投資信託）に投資を行ない、利息および配当収入の獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。</p> <p>②各マザーファンドの受益証券への投資にあたっては、下記の組入比率をめざに行ないます。</p> <p>ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の50% ダイワ海外好配当株マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の25% ダイワ・グローバルR E I T ・マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の25%</p> <p>③ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④ダイワ・グローバルR E I T ・マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、コーヘン&ステイアーズ・キャピタル・マネジメント・インクに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>⑤ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンドでは、保有する外貨建資産について、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。ダイワ海外好配当株マザーファンドおよびダイワ・グローバルR E I T ・マザーファンドでは、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	19.2	42.1	59.8	62.7	9.3	11.4	19.3
平均値	3.0	6.7	11.0	10.3	0.8	1.8	2.7
最小値	△7.4	△22.0	△17.5	△26.0	△4.0	△12.3	△14.5

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバースファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東証証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバースファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



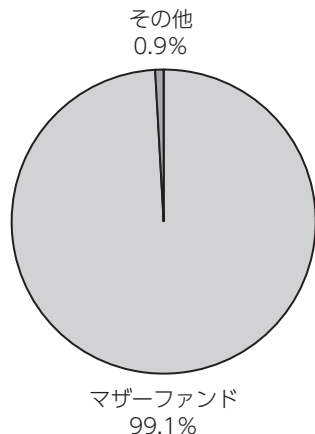
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

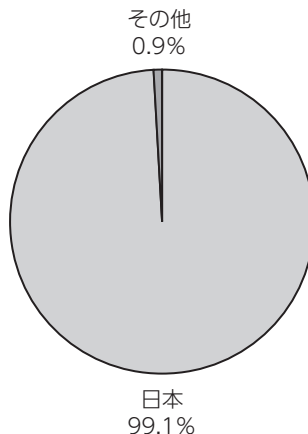
組入ファンド等

	比率
ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド	49.0%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	25.3
ダイワ海外好配当株マザーファンド	24.8
その他	0.9

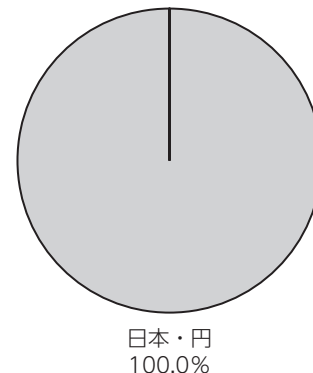
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2021年6月28日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	当期末
	2021年6月28日
純資産総額	268,133,260円
受益権総口数	181,695,145口
1万口当り基準価額	14,757円

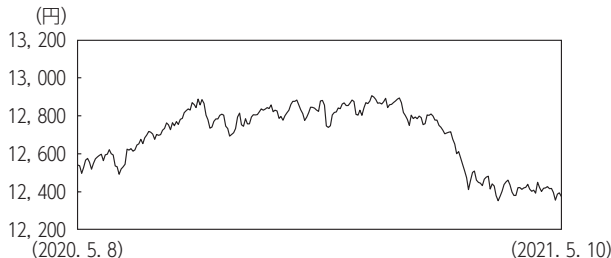
* 当期中における追加設定元本額は24,386,767円、同解約元本額は28,987,105円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ダイワ先進国債券（為替ヘッジあり）マザーファンド（作成対象期間 2020年5月9日～2021年5月10日）

■基準価額の推移



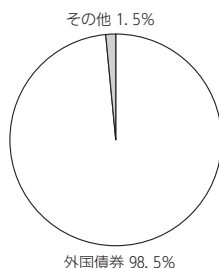
■1万口当りの費用の明細

項 目	
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	10 (10)
(その他)	(0)
合 計	10

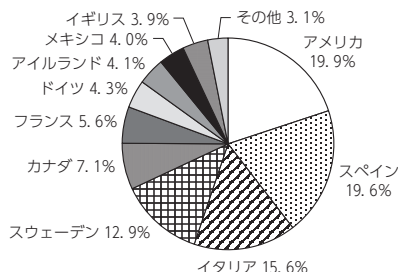
■組入上位銘柄

銘 柄 名	通 貨	比 率
United States Treasury Note/Bond 3.0% 2045/11/15	アメリカ・ドル	8.5%
Kommuninvest I Sverige AB 1.0% 2024/10/2	スウェーデン・クローネ	7.2
ITALIAN GOVERNMENT BOND 2.45% 2023/10/1	ユーロ	6.5
SPANISH GOVERNMENT BOND 1.5% 2027/4/30	ユーロ	6.5
United States Treasury Note/Bond 1.75% 2023/5/15	アメリカ・ドル	5.2
Kommuninvest I Sverige AB 1.0% 2021/9/15	スウェーデン・クローネ	4.8
SPANISH GOVERNMENT BOND 4.4% 2023/10/31	ユーロ	4.7
ITALIAN GOVERNMENT BOND 0.65% 2023/10/15	ユーロ	4.3
United States Treasury Note/Bond 1.75% 2029/11/15	アメリカ・ドル	4.0
United Kingdom Gilt 3.5% 2045/1/22	イギリス・ポンド	3.9
組入銘柄数		37銘柄

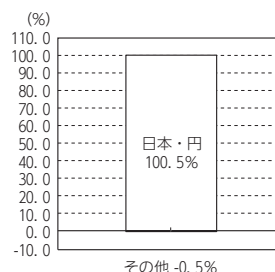
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

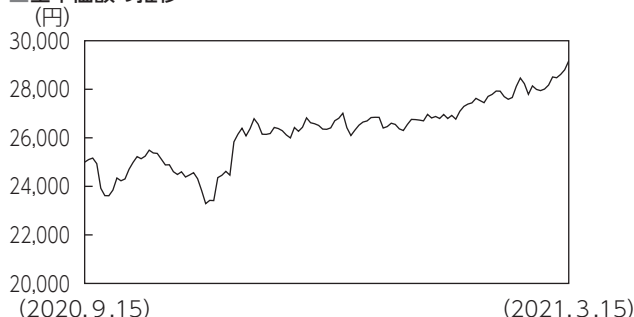
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド（作成対象期間 2020年9月16日～2021年3月15日）

■基準価額の推移



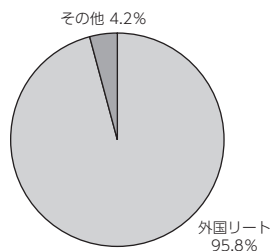
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料 (投資信託証券)	10円 (10)
有価証券取引税 (投資信託証券)	10 (10)
その他費用 (保管費用) (その他)	18 (3) (15)
合計	38

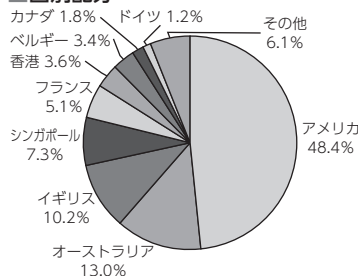
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	3.8%
LINK REIT	香港・ドル	3.6
MIRVAC GROUP	オーストラリア・ドル	3.6
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	3.5
CHARTER HALL GROUP	オーストラリア・ドル	3.2
DUKE REALTY CORP	アメリカ・ドル	2.9
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	2.6
VENTAS INC	アメリカ・ドル	2.5
KLEPIERRE	ユーロ	2.5
UDR INC	アメリカ・ドル	2.4
組入銘柄数		67銘柄

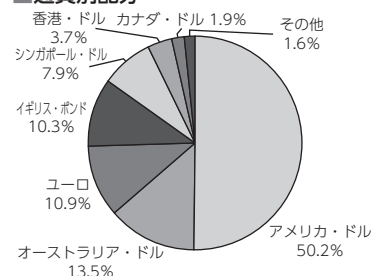
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

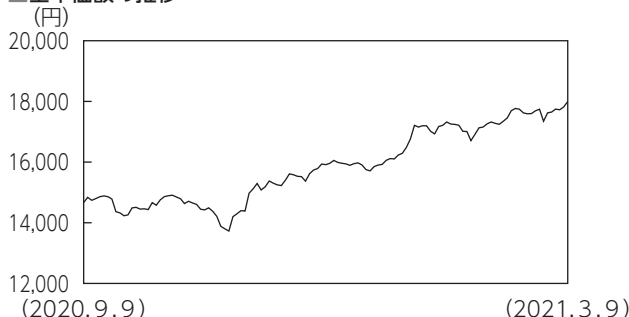
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ海外好配当株マザーファンド（作成対象期間 2020年9月10日～2021年3月9日）

■基準価額の推移



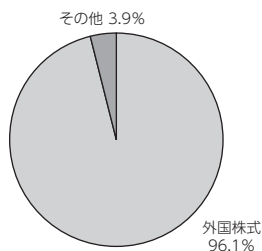
■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	6円 (6)
有価証券取引税 (株式)	2 (2)
その他費用 (保管費用) (その他)	26 (26) (0)
合計	35

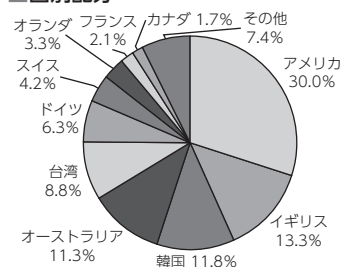
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾・ドル	6.5%
HYUNDAI MOTOR CO	韓国・ウォン	5.6
BHP GROUP LTD	オーストラリア・ドル	4.9
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	4.4
SIEMENS AG-REG	ユーロ	4.3
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	オーストラリア・ドル	4.1
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	3.5
NEXTERA ENERGY INC	アメリカ・ドル	3.5
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ・ドル	3.3
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ・ドル	3.3
組入銘柄数		44銘柄

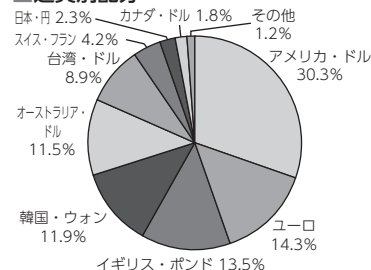
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

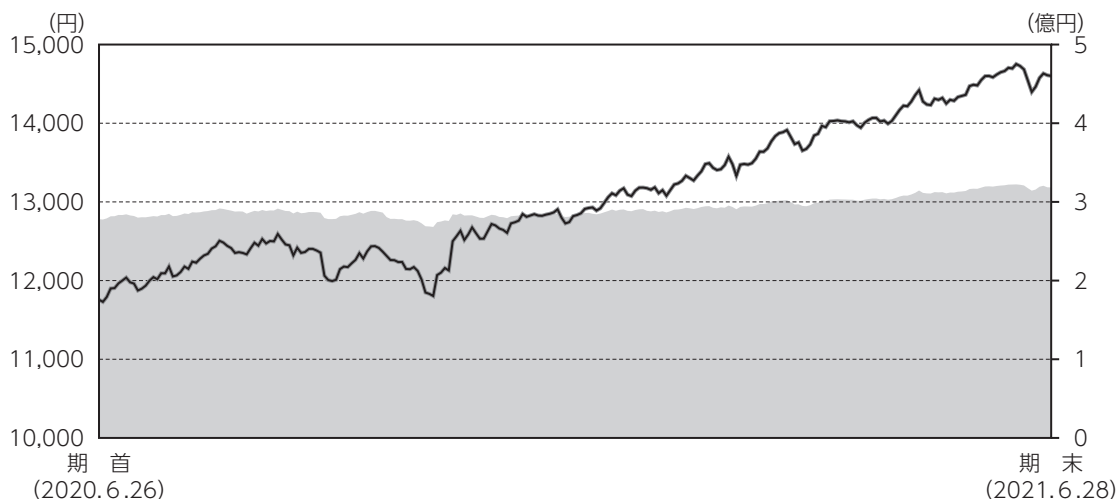
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

為替ヘッジなし



運用経過

基準価額等の推移について



— 基準価額（左軸） — 分配金再投資基準価額（左軸） ■ 純資産総額（右軸）

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,757円

期末：14,601円（分配金0円）

騰落率：24.2%（分配金込み）

■ 組入ファンドの当季成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ先進国債券マザーファンド	10.3%	49.1%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	44.5%	25.2%
ダイワ海外好配当株マザーファンド	42.8%	24.8%

■ 基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じて各資産クラスに投資した結果、海外株式市況、海外リート市況が上昇したことや、為替相場において円安が進んだことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2020.6.27~2021.6.28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	184円	1.405%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,088円です。
(投 信 会 社)	(83)	(0.630)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(94)	(0.719)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0.036	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.018)	
(投資信託証券)	(2)	(0.018)	
有 価 証 券 取 引 税	3	0.025	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.008)	
(投資信託証券)	(2)	(0.017)	
そ の 他 費 用	26	0.202	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(16)	(0.125)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(9)	(0.070)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	218	1.668	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

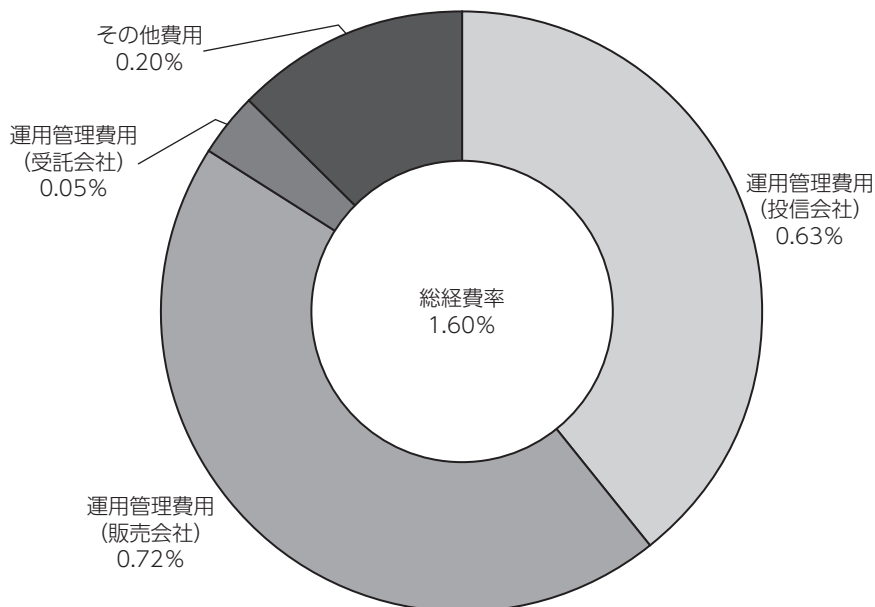
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.60%です。

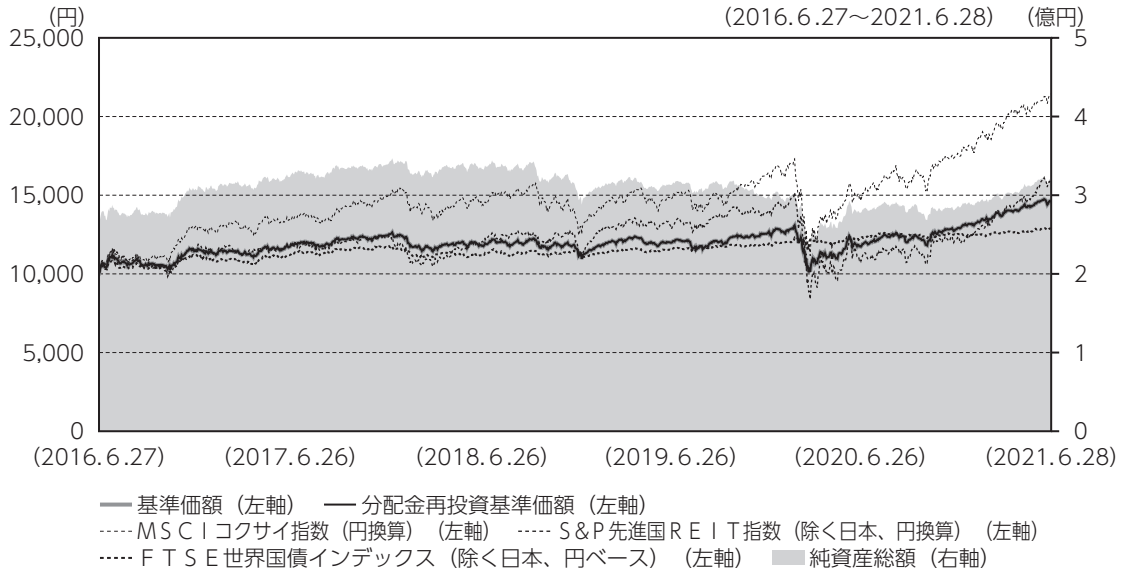


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2016年6月27日の基準価額をもとに指数化したものです。

*参考指数は、M S C I コクサイ指数 (円換算)、S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、円換算) および F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) です。

	2016年6月27日 期初	2017年6月26日 決算日	2018年6月26日 決算日	2019年6月26日 決算日	2020年6月26日 決算日	2021年6月28日 決算日
基準価額 (円)	10,339	11,731	11,782	11,981	11,757	14,601
分配金 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	13.5	0.4	1.7	△1.9	24.2
F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) 騰落率 (%)	—	8.4	△0.2	3.0	6.3	4.9
M S C I コクサイ指数 (円換算) 騰落率 (%)	—	30.1	6.7	2.6	1.1	43.8
S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、円換算) 騰落率 (%)	—	14.1	1.9	8.4	△15.9	44.7
純資産総額 (百万円)	270	323	333	312	277	318

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

(注3) F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注4) M S C I コクサイ指数 (円換算) は、M S C I Inc.の承認を得て、M S C I コクサイ指数 (米ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。M S C I コクサイ指数 (米ドルベース) は、M S C I Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I Inc.に帰属します。またM S C I Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注5) S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、円換算) は、S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、米ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注6) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注7) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

（2020.6.27～2021.6.28）

■海外債券市況

海外債券市況は、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

海外債券市況は、当作成期首から、緩和的な金融政策の長期化が見込まれる中で、金利は低位で推移しました。その後、2020年11月の米国大統領選挙において民主党のバイデン候補が勝利する見込みが高まると、大規模な景気刺激策への期待から長期金利は上昇しました。2021年1月に入ると、米国で民主党が大統領府および連邦議会上下両院を制する状態となったことや、新型コロナウイルスのワクチン接種の急速な拡大によって世界経済の回復期待が高まったことから、金利上昇が加速しました。

■海外株式市況

海外株式市況は上昇しました。

海外株式市況は、当作成期首から2021年6月まで、新型コロナウイルスによる世界経済減速からの回復期待により、堅調な展開となりました。各国・地域の政府、中央銀行が大胆な支援策を講じ、段階的に経済活動を再開する中で景気回復への期待が高まったことなどが支援材料になりました。2020年9月以降は、これまでの株価上昇による高値警戒感に加え、欧州などで感染が再拡大したことなどにより、株価の調整が見られました。年末にかけては、米国大統領選挙で民主党のバイデン候補が勝利を確実にし、米国政治をめぐる不透明感が後退したとの見方や米国の追加経済対策への期待などから上昇しました。2021年1月から当作成期末にかけても、高値警戒感や米国金利上昇への警戒感などから調整する局面はありましたが、ワクチン接種の進展や米国で1.9兆ドル規模の追加経済対策が成立し、景気回復への期待が高まったことなどが支援材料となり、上昇しました。

■海外リート市況

海外リート市況は上昇しました。

米国では、新型コロナウイルスの感染拡大が嫌気される局面もありましたが、ワクチン接種の進展による経済正常化期待などを好感して上昇しました。欧州では、ワクチン普及による経済正常化期待を受けて、フランスやオランダ中心に上昇しました。アジア・オセアニアでは、感染拡大の収束傾向を背景に、オーストラリアや香港が上昇しました。

■為替相場

為替相場は、下落（円高）後に反転し、上昇（円安）しました。

当作成期首より、新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念からリスク回避姿勢が高まり、投資対象通貨は下落しました。2020年11月以降は、ワクチン開発で大きな進展があったことで市場のリスク志向が高まり、投資対象通貨は上昇しました。また2021年1月には、米国での大規模な財政政策へ期待が高まったことも、投資対象通貨の上昇材料となりました。特に、豪ドルやカナダ・ドルなどの資源国通貨は、資源価格が大きく上昇したことで、堅調な推移となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

マザーファンドを通じて、主として海外の債券、株式およびリートに投資を行い、利息および配当収入の獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

各マザーファンドの受益証券への投資にあたっては、下記の組入比率をめどに行います。

- ・ダイワ先進国債券マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の50%
- ・ダイワ海外好配当株マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の25%
- ・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の25%

■ダイワ先進国債券マザーファンド

各国の経済状況、金融市場動向、金利動向の状況を考慮し、組入通貨と組入比率を決定していきます。債券ポートフォリオにつきましては、先進国の政府（州政府を含む）、先進国の政府関係機関、国際機関、および先進国の事業会社等が発行する先進国通貨建ての債券に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ海外好配当株マザーファンド

海外の株式等に投資し、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得により信託財産の中長期的な成長をめざします。地域配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域に均等に投資することを基本とします。個別銘柄選定にあたっては、配当の質の高い企業を選定するための定量分析データや、配当利回りの水準、時価総額規模、流動性等を勘案します。また、定性分析に基づき利益や配当の継続性を考慮し、業績見通しの改善が期待される企業に投資を行う方針です。

■ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託します。海外リートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案し投資銘柄を選定し、分散投資を行います。

※C&S：コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク

ポートフォリオについて

(2020.6.27~2021.6.28)

■当ファンド

マザーファンドを通じて、主として海外の債券、株式およびリートに投資を行い、利息および配当収入の獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の組入比率をめどに投資を行いました。

- ・ダイワ先進国債券マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の50%
- ・ダイワ海外好配当株マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の25%
- ・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の25%

■ダイワ先進国債券マザーファンド

通貨配分につきましては、各国の経済状況、金融市場動向、金利動向の状況を考慮し、組入通貨、組入比率をコントロールしました。債券ポートフォリオにつきましては、先進国の政府（州政府を含む。）等が発行する先進国通貨建ての債券の組み入れを維持しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じた対応をとりました。

■ダイワ海外好配当株マザーファンド

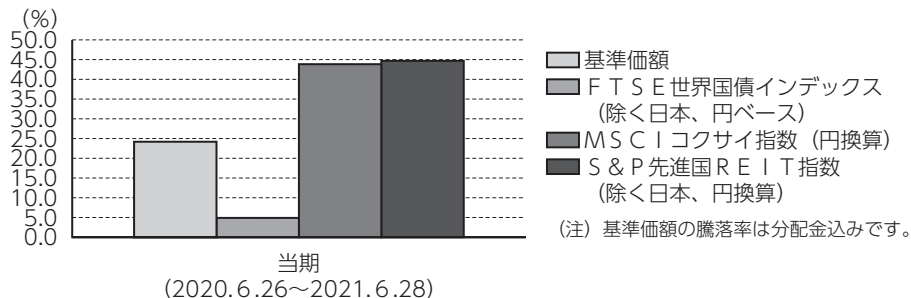
海外の株式等に投資し、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得により信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。地域別配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域を均等になるように、個別銘柄の投資比率を調整しました。個別銘柄の選択に関しては、高い配当利回りが期待される銘柄の中から、特に利益やキャッシュフロー等の業績成長や負債比率等の財務体質の健全性を考慮し、ポートフォリオに組み入れました。また株価の水準にも注意を払い、相対的に割安感がある企業を中心に組み入れを行いました。

■ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託しております。当ファンドでは、信託財産の中長期的な成長をめざし保有不動産の価値などと比べてリート価格が魅力的であると考えられる銘柄に着目するとともに、安定的な配当利回りの確保をめざしてポートフォリオを構築しました。国・地域別配分では大きなリスクを取らず各地域に分散して投資を行いました。米国では、需給改善が期待されたヘルスケアリートや、電子商取引に関連した需要増加が期待される産業施設リートなどに注目しました。欧州では、安定したキャッシュフロー成長が見込まれるセクターである貸倉庫を保有するリートやヘルスケアリートに、アジア・オセアニアでは、オーストラリアの産業施設リートなどに注目しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年6月27日 ～2021年6月28日	
当期分配金（税込み） (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	4,600	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

マザーファンドを通じて、主として海外の債券、株式およびリートに投資を行い、利息および配当収入の獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

各マザーファンドの受益証券への投資にあたっては、下記の組入比率をめどに行います。

- ・ダイワ先進国債券マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の50%
- ・ダイワ海外好配当株マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の25%
- ・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の25%

■ダイワ先進国債券マザーファンド

各国の経済状況、金融市場動向、金利動向の状況を考慮し、組入通貨と組入比率を決定していきます。債券ポートフォリオにつきましては、先進国の政府（州政府を含む。）、先進国の政府関係機関、国際機関、および先進国の事業会社等が発行する先進国通貨建ての債券に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ海外好配当株マザーファンド

海外の株式等に投資し、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得により信託財産の中長期的な成長をめざします。地域配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域に均等に投資することを基本とします。個別銘柄選定にあたっては、配当の質の高い企業を選定するための定量分析データや、配当利回りの水準、時価総額規模、流動性等を勘案します。また、定性分析に基づき利益や配当の継続性を考慮し、業績見通しの改善が期待される企業に投資を行う方針です。

■ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託します。海外リートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案し投資銘柄を選定し、分散投資を行います。

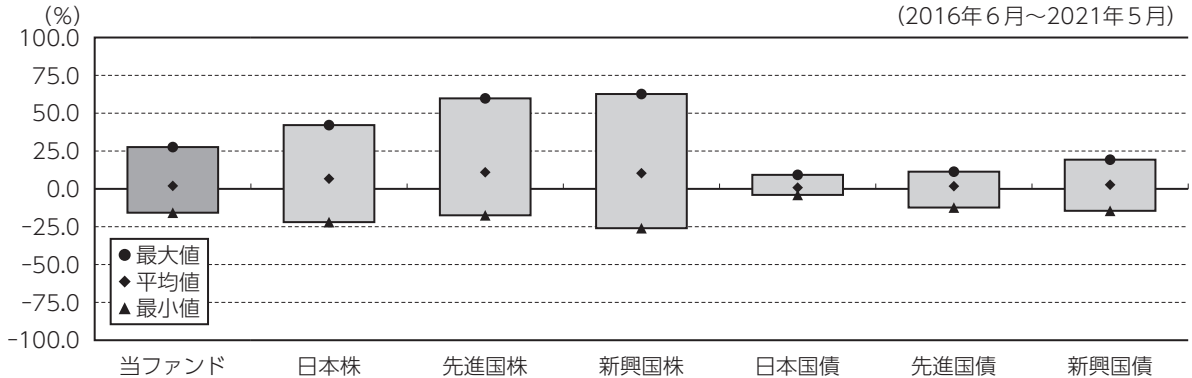


当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	約14年9カ月間（2013年10月11日～2028年6月26日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. ダイワ先進国債券マザーファンドの受益証券 ロ. ダイワ海外好配当株マザーファンドの受益証券 ハ. ダイワ・グローバルR E I T ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ先進国債券マザーファンド	先進国通貨建ての債券
	ダイワ海外好配当株マザーファンド	海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ・グローバルR E I T ・マザーファンド	海外の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）および店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券
ベビーファンドの運用方法	<p>①マザーファンドを通じて、主として海外の債券、株式およびリート（不動産投資信託）に投資を行ない、利息および配当収入の獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。</p> <p>②各マザーファンドの受益証券への投資にあたっては、下記の組入比率をめどに行いません。</p> <p>ダイワ先進国債券マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の50%</p> <p>ダイワ海外好配当株マザーファンドの受益証券……………信託財産の純資産総額の25%</p> <p>ダイワ・グローバルR E I T ・マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の25%</p> <p>③ダイワ先進国債券マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④ダイワ・グローバルR E I T ・マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>⑤保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	27.6	42.1	59.8	62.7	9.3	11.4	19.3
平均値	2.0	6.7	11.0	10.3	0.8	1.8	2.7
最小値	△15.7	△22.0	△17.5	△26.0	△4.0	△12.3	△14.5

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバースファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバースファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



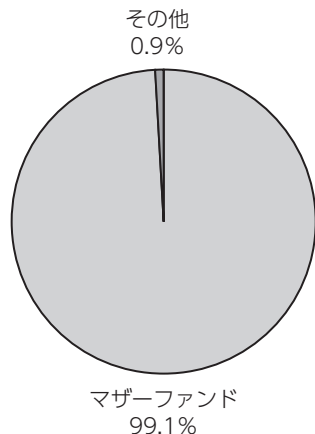
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

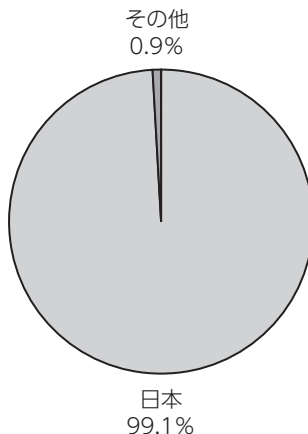
組入ファンド等

	比率
ダイワ先進国債券マザーファンド	49.1%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	25.2
ダイワ海外好配当株マザーファンド	24.8
その他	0.9

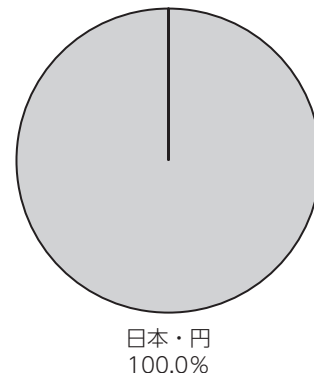
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2021年6月28日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	当期末
	2021年6月28日
純資産総額	318,411,719円
受益権総口数	218,076,636口
1万口当り基準価額	14,601円

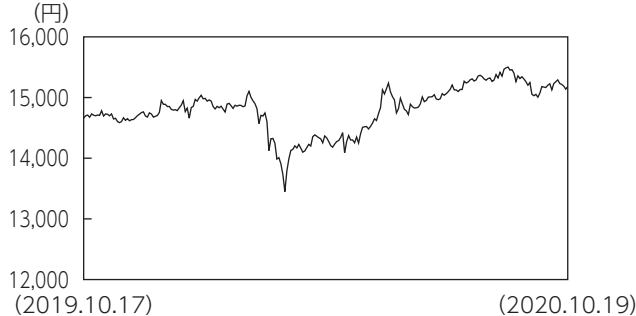
* 当期中における追加設定元本額は24,981,963円、同解約元本額は43,346,877円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ダイワ先進国債券マザーファンド（作成対象期間 2019年10月18日～2020年10月19日）

■基準価額の推移



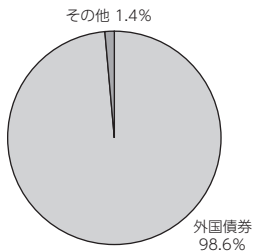
■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	29 (29)
(その他)	(1)
合計	29

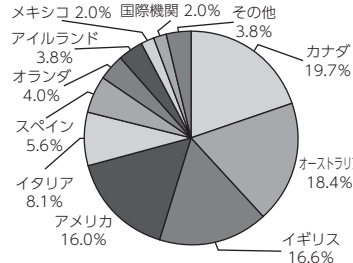
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 3.25% 2029/4/21	オーストラリア・ドル	11.2%
United States Treasury Note/Bond 2.25% 2021/4/30	アメリカ・ドル	8.3
CANADIAN GOVERNMENT BOND 1.0% 2027/6/1	カナダ・ドル	7.1
CANADIAN GOVERNMENT BOND 2.25% 2025/6/1	カナダ・ドル	6.3
BRITISH COLUMBIA 8.75% 2022/8/19	カナダ・ドル	5.6
United Kingdom Gilt 1.25% 2027/7/22	イギリス・ポンド	4.5
United States Treasury Note/Bond 2.5% 2046/2/15	アメリカ・ドル	4.1
Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 4.5% 2024/3/1	ユーロ	4.1
United Kingdom Gilt 2.0% 2025/9/7	イギリス・ポンド	4.0
RABOBANK NEDERLAND 3.875% 2022/2/8	アメリカ・ドル	4.0
組入銘柄数	32銘柄	

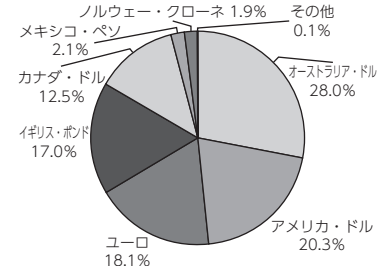
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

- ◆**ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド**（作成対象期間 2020年9月16日～2021年3月15日）
15ページをご参照ください。
- ◆**ダイワ海外好配当株マザーファンド**（作成対象期間 2020年9月10日～2021年3月9日）
16ページをご参照ください。